

大文字

京都民医連あすかい病院
広報誌

vol.44

2025年 11 月

病院理念

1. 患者・利用者の人権を尊重し、安全で質の高い保健・医療・介護活動を行います。
2. 地域住民、地域の医療・福祉機関、諸団体に開かれた活動を行います。
3. 学習につとめ、日々成長する組織であり続けます。



公益社団法人信和会 京都民医連あすかい病院



往診センター「その人らしい暮らしが続けられるようサポートします」

特集


超高齢化・多死社会の到来と、在宅医療のこれから

あすかい病院 Q



特集1

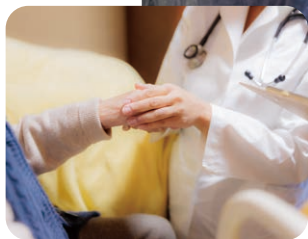
超高齢化・多死社会の到来と、 ✿✿ 在宅医療のこれから ✿✿



京都民医連
あすかい病院
往診センター長
上林 孝豊

超高齢社会が進行し、疾病構造が変化する中で、私たち医療者が担うべき役割も大きく変わろうとしています。特に、世界が経験したコロナ禍は、平時であっても起こりうる将来の医療逼迫を先取りで経験する機会となり、病院完結型医療の限界と、地域全体で患者さんを支える医療体制の重要性を浮き彫りにしました。

多くの国民が「最期まで住み慣れた場所ですごしたい」と願う一方で、通院が困難になったり、入退院を繰り返している患者さんは少なくありません。病気は改善しても、暮らしが立ち行かなくなる。こうした課題に直面したとき、私たちに何ができるのか。それは、病院での「治療」と在宅での「暮らし」をシームレスにつなぎ、患者さん一人ひとりの人生に伴走していくことではないでしょうか。



当院「往診センター」が大切にしていること

当院「往診センター」は、「在宅医療を通じて、老いや病気や障害を抱えながらも住み慣れた場所で安心して過ごすことができるような地域作りに貢献していく」という理念のもと、24時間365日、患者さんを支えるパートナーでありたいと願っています。

左京区南部のエリアを、総勢19名の各科専門医を含むチームが訪問診療に伺い、現在約380名の患者さんの療養生活を支援しています。私たちは、単に疾患を管理するだけでなく、患者さんを「生活者」として捉え、その人らしい暮らしと選択を支えるために、特に次の3つの取り組みに力を入れています。



1

「暮らし」と「不安」に

寄り添う

医療の実践

私たちは「医療だけでなく暮らしも支える」「患者さんやご家族の抱える不安や負担に向き合う」ことを何よりも大切にしています。体調変化への不安に対しては、積極的な臨時往診（月平均60件）や電話でのフォロー（テレナーシング）で迅速に対応しています。また、療養生活の背景にある介護力不足が、実は再入院の大きな要因となっていることも少なくありません。私たちはケアマネジャーをはじめとする介護職の皆さまと密に連携し、医療の前にまず介護の基盤を整える視点を重視しています。

2

顔の見える

多職種連携と

ICTの活用

「困ればみんなでカンファレンス」が私たちの合言葉です。医療介護連携SNS「Medical Care Station（MCS）」を活用しながら、地域の訪問看護ステーション、ケアマネジャー、薬局、介護事業所の皆さまと密に情報を共有し、患者さんの変化に対して、チームとして迅速に対応できる体制を整えています。また、地域に開かれた勉強会の開催や、地域のケア会議への積極的な参加などを通じて、地域全体の医療・介護の質の向上にも貢献したいと考えています。

3

病院と在宅を繋ぐ シームレスな連携



在宅医療は、病院の先生方との連携なくしては成り立ちません。私たちは、病院での治療を在宅療養に確実につなぐため、3つのフェーズを意識しています。1つ目が退院前カンファレンスで患者さん・ご家族の不安を和らげる「ひきつぐ」フェーズ。2つ目は退院直後の不安定な時期を特別訪問看護指示などを活用し手厚く支える「在宅で頑張る」フェーズ。そして、3つ目がやむなく入院が必要となった際に、在宅での暮らしの情報や患者さんの思いを的確に病院へ申し送る「つなぐ」フェーズです。これらのフェーズを意識することで不要な入院を避け、患者さんが望む場所での療養を可能な限り継続できるよう努めています。

患者さんの思いを 未来へつなぐために

地域の患者さんが、たとえ病を得ても、最期までその人らしく輝き続けられるために、私たち往診センターが、医療を患者さんの暮らしの場へとつなぐ、信頼できる架け橋となれば幸いです。「通院が負担…」「退院後の生活が不安…」といったお悩みの患者さんがおられましたら、ぜひお気軽にご相談ください。

お問合せ

京都民医連あすかい病院

● 電話【代表】
075-701-6111

● 受付時間
平日 9 時～17 時

ホームページ



「生活リハビリ」で 自分らしい暮らしを支える

◀ 地域包括ケア病棟での取り組みをさらに広げる ▶

地域包括ケア病棟のリハビリの中核を担うのが「生活リハビリ」です。病気やけがからの回復にとって、リハビリは欠かせない存在ですが、私たちが取り組む「生活リハビリ」は、病院の中だけで完結するものではありません。退院後の生活を見据え、「その人らしい生活」を再び取り戻すためのリハビリです。当院ではこれから、一般病棟でも「生活リハビリ」を実施していき退院支援をより強化していきたいと考えています。

生活リハビリって何？

「生活リハビリ」とは、リハビリ室の中での運動や訓練に限らず、日常生活そのものをリハビリの場として活用する考え方です。

たとえばどんな動作でしょう？

- 食事を自分で食べる
- トイレに行く
- 洋服を選んで着替える
- 洗濯物をたたむ
- 廊下を散歩する

いつも私たちが行っている何気ない動作のひとつひとつが、実は立派な「生活リハビリ」です。病気や入院生活で一時的に介助が必要になった状態を、日常生活の中で自然に回復させていきます。これは最初少し介助がいる状態でも一緒に行っていくことが大切です。

「生活に戻る」ことを 見据えて

病気の治療が終わっても、すぐに家で元通りの生活を送ることは簡単ではありません。特に高齢の方は、入院によって体力や認知機能が低下しがちです。また病院では転倒の危険があるから、と活動範囲が狭くなってしまふこともあります。

地域包括ケア病棟では、医師、看護師、介護士、作業療法士、理学療

法士、言語聴覚士、栄養士、薬剤師、そして医療ソーシャルワーカーなどの多職種が連携して、「退院後の暮らし」を見据えた支援を行います。患者さんの「生活の再構築」をサポートするため、患者さんと一緒に、どんな生活を望んでいるのか、これまでの生活はどうだったのか、またどの動作を行わないと家に帰れないのかを確認し、必要な動作の練習や、福祉用具の提案、家屋改修の相談なども行います。そして、その目標を患者さんに関わるすべてのスタッフが知ることが大切です。

病室が「暮らしの場」になる

生活リハビリを効果的に行うために、私たちは病室や病棟全体を「暮らしの場」として活用しています。

●起床・着替え・洗面といった朝の

支度を、できるだけご自分の力でやっていただく

●食事はできるだけ食堂で、他の人と一緒に楽しく

●買い物や調理の練習として、院内売店や調理訓練スペースを利用

●段差のある廊下や階段の昇降練習
「安全だからベッドで安静に」ではなく、「できることは自分でやってみる」「少しずつ日常に近づける」ことが、回復につながります。

地域とつながるリハビリへ

退院後も、必要に応じて訪問リハビリや通所リハビリなど、地域での支援を受けることができます。生活リハビリの経験は、その後の地域での生活をスムーズにするための「リハビリ期間」として、大きな意味があります。また退院後は信和会に5

か所ある通所リハビリ、デイサービスや訪問リハビリなどもご利用いただけるので家でもリハビリを続けることができます。

ご家族や地域の皆さまにも患者さんの生活に参加していただけるよう、面会時の動作指導や介助方法の相談なども行っています。ぜひお気軽にご相談ください。

最後に

生活リハビリは、「できることを取り戻す」だけでなく、「その人らしい生き方を支える」ためのものです。多くの患者さんのその人らしい生き方を支えられるように、一緒に歩んでいきたい。生活の中でリハビリをしている、という考え方を皆さんと共有し、いきいきとした生活を支えていきたいと思っています。

病棟で歩行練習

素敵な歩き姿です！



病棟での食事場面

座れる方は
座って食べることは
とても大切です



「困ったときのあすかいさん」へ 70年の歴史とこれから



万里小路にあった安井医院

本年10月、京都市民連あすかい病院は70周年を迎えました。

1937年10月、今日の病院の土台となる安井医院が開業。当時の安井信雄院長は、保険患者は全患者の1/2割と貧困層が多かったこの地域で、「お金はある時に払えばええ」と、「いのちの平等」を信条に医療活動をはじめました。その後、地域の皆さまからの10円、50円の積み立てで1955年7月11日に安井病院を開設、同時に全日本民医連に加盟しています。戦後10年に当たる年でした。

経済が復興し日常には平和がもどりつつありましたが、働く人びとの暮らしはまだその日の糧を得るだけで精一杯。この地域では日雇健康保険や生活保護が多く、健康保険制度も不十分、私費扱いの患者さんも多数いて医療を受ける権利が保障されているとは言えない状況でした。そんな中、地域の方々の「いつでも安心して良い医療が受けたい」という切実



患者宅にて診察する安井医師

な願いと強い期待のもと、病院建設への出資や患者紹介など物心両面にわたる協力を受けて安井病院はつくられました。こうした歴史を当院は引き継ぎ、現在も共同組織のみなさまと共に地域の医療・介護を守るために活動を続けています。

1997年に現在の北館が完成、安井病院から京都市民連第二中央病院へと改称しました。そして2019年には南館を建て替え、現在の京都市民連あすかい病院に改称しました。地域では基幹病院としての役割を担っています。この1997年の北館建て替え、2019年南館リニューアル時にも地域の皆さまから沢山の建設協力金、基金、寄付をお寄せいただきました。2025年は、28年経過した北館の大規模改修を計画しており「あすかい病院北館大規模改修事業特定協力金」に取り組みます。トイレの改修、浴室、壁紙の改修、また建物内部の配管工事や昇降機のリニューアルを行います。地域の皆さまの「協力をお願い致します。私たちは「いのちの平等」を掲げ、地域住民の切実な要求に応える医療を実践してきました。かつて「困ったときには安井さん」と言われていたように、「あすかいさん」と信頼・親しみを込めて呼んでいただけの病院であり続けたいと思います。

地域のチカラ

「地域の中でお客さんに愛され続けるお店でありたい」——。今回は一乗寺にあるパン屋「ルボンディー」さんをご紹介します。



地域の中で愛され続けるお店でありたい

叡山電鉄「一乗寺駅」「茶山・京都芸術大学駅」から徒歩7分のところにあるパン屋「ルボンディー」さん。1996年創業。ひっきりなしにお客さんが来店する地元の愛されパン屋さんです。当院の職員にもファンがたくさんいます。

創業者の息子さんにお話を伺いました。パン作りの中でいつも心に留めている想いは「自分たちは何種類ものパンをたくさん作っているけれど、お客様にとっては一つ一つのパンである」ということ。一つ一つ愛をこめてパンづくりと向き合っておられました。「地域の中でお客様に愛され続けるお店でありたい」という想いの中で、お客さんからの

「美味しい」という反応が日々の励みになっているといいま

す。

おすすめのパンは
コルネ・クリスプ。
レジで注文を受けてからクリームを詰めてもらえる一品でサクサクの食感を楽しめます。クリームは、生クリーム・カスタード・生チョコクリーム
の3種類から選べ、ハーフも可能です。

木の暖かみを感じるかわいらしい店内には甘いパンから総菜パン、クッキーやラスクまで幅広く並びます。

是非お気に入りを見つけないでください！

営業時間

7時〜18時
定休日…木曜日
Tel 075-1724-5335

インスタグラム
も是非フォロー
してね！



職場探訪



回復期 リハビリテーション病棟

当院の回復期リハビリテーション病棟は2002年に開設されました。

脳血管疾患や大腿骨骨折などで急性期治療を終えた患者さんが、ご自宅や社会への復帰を目指し、集中的なリハビリに取り組みするための専門病棟です。

当病棟では看護師と介護福祉士が密に連携し、医療と生活の両面から患者さんをサポートしています。また、リハビリセラピストと日常的にカンファレンスを行い、病気や障害があっても「できること」に焦点を当て、その人らしい豊かな生活を送れるよう支援しています。

詳しくはこちらまで



京都の風物詩・
五山の送り火

京都の夏の風物詩、五山の送り火が今年も8月16日に開催されました。当院では、五山のひとつ大文字山が正面に見えるという立地を活かし、患者さんのレクリエーションとして「大文字送り火鑑賞会」を開催しました。

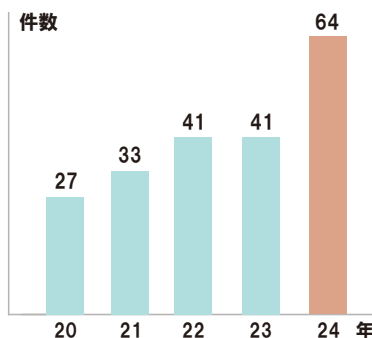
近年は新型コロナウイルスの影響で中止が続いていましたが、今年は久しぶりに開催することができ、患者さんのたくさんの笑顔を見ることができました。目の前に灯る火を写真に収めたり、故郷や大切な人に思いを馳せたりする、心温まる時間となりました。これからも、こうした楽しいみやリフレッシュの機会を大切にしながら、患者さんが生き生きとリハビリに取り組めるようサポートしていきます。

まちづくりセンター通信

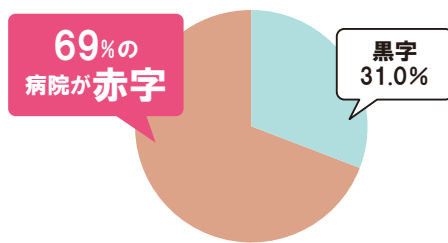
医療の安心を、どこでも誰でも



医療機関（病院・診療所・歯科医院）
事業所の倒産件数の推移
（2020～2024年）



2024年度 医業利益



2024年診療報酬改定の病院経営
状況調査の回答数：1,731件

いつでもどこでも誰もが安心して
医療を受けることができる社会に
「まちの医療機関がなくなる？病院は
赤字、ベッド削減、薬の保険外し」

「ある日突然、病院がなくなりました」と日本病院会など病院6団体が訴えを
発表しました。自民・公明・維新の会
が、国民医療費を毎年4兆円削減する
ために、11万床のベッド削減や薬の保
険外しなど医療費削減計画を発表した
ことに対する訴えです。

水光熱費や医薬・材料費の高騰に対
応していない診療報酬の実質値下げが
続き、病院の約7割が赤字です。賃金
確保や処遇改善、人員確保にも全く届
かず、深刻な人手不足につながってい
ます。

その結果、救急の受け入れや入院の
受け入れを制限する病院が相次ぎ、開
業医の閉院も起きています。昨年度は
64の病院・診療所が倒産し、過去最多
となっています。お産ができない市町
村も全国で1042市町村を超えてい
ます。

医療費抑制政策の転換を！

「地域住民の医療を受ける権利を保
障するために医療機関の維持存続への
支援を求める請願」署名のご協力をお
願います！

医療機関が倒産・廃業などになれば、
国民皆保険制度の下で守られてきた国
民のいのちと健康が脅かされかねませ
ん。診療報酬の緊急かつ大幅な引き上
げは急務です。

また、差額ベッド代の拡大や、漢方
薬やビタミン剤、軟膏薬、湿布薬など
が保険から外され自費診療になるなど
大幅な自己負担の拡大が、受診する権
利を侵害することになります。

私たち民医連は、差額ベッド代をい
ただかないことや無料低額診療などで
受療権を守る取り組みをすすめると同
時に、誰でもどこでも保険証1枚で医
療にかかれる国民皆保険制度の存続を
求めて、「地域住民の医療を受ける権
利を保障するために医療機関の維持存
続への支援を求める請願」署名を取り
組んでいます。皆様のご協力をよろし
くお願いいたします。

問い合わせ先

京都東健康友の会
左京ブロック事務局
（あすかい病院南館売店横）
TEL：075-712-9088

スタッフ紹介

看学対担当へインタビュー

京都民医連あすかい病院
看護学生担当事務

岡本 麗弥



2025年6月にあすかい病院の看護学生担当事務（看学対）に着任しました。2021年入職で、これまでは川端診療所と洛北診療所に4年間おりました。診療所という場所で窓口・会計業務や友の会活動に触れながら、地域に根差した診療所の役割とは何か、たくさんの方のことを患者さんや共に働くスタッフから学んできました。ちなみに大阪府出身で、信和会への入職を機に京都へ来ました。左京区は大学も多く、学生街の活気と古都の落ち着きが調和した文化的な街で気に入っています。

看学対は、看護学生や高校生へ民医連の医療・看護を知ってもらえる企画を考え、繋がりをつくっていく役割があります。単なる採用活動ではなく、看護の道を志す学生さんの成長を支援し、未来の看護師さんと民医連を繋いでいくためのきっかけづくりをしています。あすかい病院看護部の魅力を伝えるインスタグラムも頑張っています！是非フォローしてくださいね。

返信ハガキ・メールからのお声を一部ご紹介します。

- 久しぶりの大文字を楽しく読ませていただきました。クイズ楽しみにしています。
- ふれあいクイズ、今の時期にぴったりの問題でした。私は生協加入39年になりますが、今年はお米の抽選に2回もハズレました。以前、「麦を食べて」と言った大臣がおりましたが、今は麦も高い。今度は何を食べてと言いますか。売るほど欲しいとは言っていない。食べる分だけ欲しいです。
- おにぎりがソウルフードの日本でコメが買えなくなるなんて、コメさえも贅沢？コメが主食の国でまさかこんなことになるなんて。この国の農政はどないなってるんでしょうね。農水大臣の妄言、情けなくなります。頑張って作っている農家の生活、国民の食の安心安全、それを守るためにちゃんと働いて欲しい。
- 「茶山のさと」の竣工時、友の会総会へ見学を兼ねて出席。その帰りに「雪柳」をいただき、今年は雪柳が満開の白い花が咲ききれいでした。ありがとうございました。

✿ ご意見、ご感想ありがとうございました。

第38回

ふれあいクイズ

大問字



次の①～④の□に入る漢字を並び替えて4文字の文学作品名をつくってください。

ヒント：1925年に刊行され、今年で100年を迎えたノンフィクション作品です。当時の日本の繊維産業の陰に隠されていた、労働者たちの実態を世に知らしめる役割を果たしました。

- ① □ 跡を巡る
- ② 加 □ 食品
- ③ □ 将がいる旅館
- ④ □ 愁漂う

ご意見ご感想募集！

クイズの答えをハガキかEメールにて下記までお送りください。その際、余白に広報誌の感想や日頃感じておられることなどをご記入ください。次号で一部ご紹介させていただきます。め切は、2026年2月末です。抽選で5名の方に、500円の図書カードを進呈します。どしどしご応募ください。

ハガキの場合

〒606-8226 京都市左京区田中飛鳥井町89
京都民医連あすかい病院広報誌「大文字」
ふれあいクイズ係 岡本宛

Eメールの場合

eggnurse@shinwakai-min.jp

※住所氏名が記載されていないことが
ありますのでお気をつけください。

